

つくば市まち・ひと・しごと創生の基本的な取り組み方針

1 はじめに

つくば市では平成 27 年度より、目指すまちの姿やその実現のための基本的な方針等を示したつくば市未来構想と、市の主要な施策等を示したつくば市戦略プランに基づくまちづくりを行っています。未来の都市像である

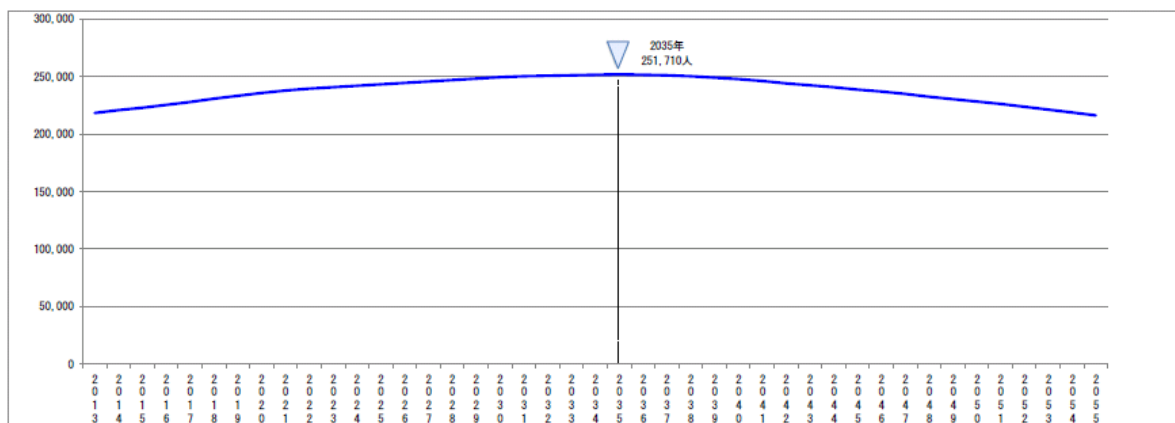
「住んでみたい 住み続けたいまち つくば

～人と自然と科学が育む スマート・ガーデンシティ～」

の実現とともに、全国的な人口減少の潮流に対応するため、国の策定したまち・ひと・しごと創生に関する長期ビジョン及び総合戦略と整合を図りつつ、つくば市独自の課題に対する処方せんとして、つくば市人口ビジョン（仮称）及びつくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の策定を行います。

2 つくば市が取り組むまち・ひと・しごと創生

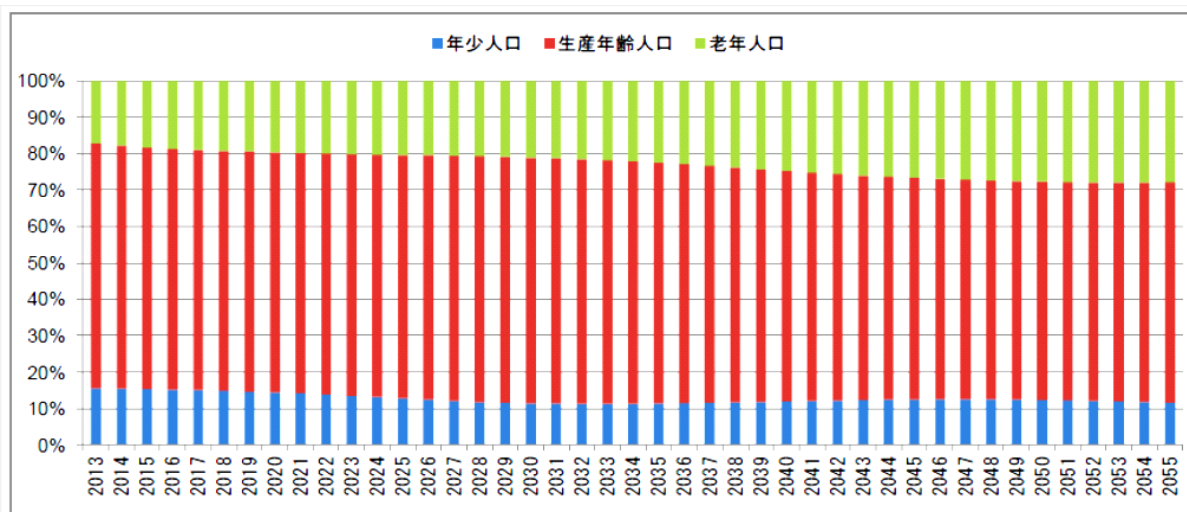
つくば市未来構想における将来人口では、今後も一定の人口定着が続き、2035 年の 25 万 2 千人をピークとして、やがて、緩やかに人口減少に転じると予測しています。人口の構成については、年少人口と生産年齢人口の割合が減少し老年人口が増加していくと推計されており、人口が増加する一方、少子高齢化が進行していくため、決して楽観視できる状況ではありません。日本全体に目を向けても、2008 年に人口減少社会に突入し、地方の人口流出や大都市における超低出生率が課題となっており、人口減少による消費・経済力の低下が懸念され、日本の経済社会に対して大きな重荷となっています。



つくば市の将来人口

こどもの出生数に目を向けますと、つくば市の合計特殊出生率は平成 25 年で 1.37、平成 26 年で 1.43 であり、全国平均である 1.43 と比較してほぼ同程度の状況です。

そうした中、つくば市としては、東京圏からの流入を促し、茨城県南地域からの流出を防ぐ役割を担い、東京一極集中を是正する茨城県南地域における人口のダムになるべく、各種施策に取り組む必要があります。加えて、外からの人口流入・社会増による人口増加はもちろんですが、いわゆる小さくなるパイを奪い合うだけではなく、こどもを生み・育てる・自然増により、更なるパイの拡大・維持を目的として、人口ビジョン及び総合戦略の策定に取り組んで参ります。



つくば市の人口構成予測

3 オールつくばによる取組

人口ビジョン及び総合戦略の策定は、つくば市自らが考え、行政としての責任を果たすことはもちろん、市民代表や産業界・学識経験者・行政機関・金融機関・言論など、幅広い分野から参加を促し、若年層や子育て世代などの女性など多様な年齢構成の方から意見をいただき、オールつくばで取り組んで参ります。また、市民アンケートにより結婚・出産・子育てに関する市民の方の希望や高校・大学卒業予定者の就職・定住希望をお聞きするとともに、パブリックコメントや市民懇談会等を実施し、まち・ひと・しごと創生に関する全般的な意見など、幅広い市民意見について収集・反映を行います。

4 つくば市戦略プランとの関係

未来の都市像である「住んでみたい 住み続けたいまち つくば ～人と自然と科学が育む スマート・ガーデンシティ～」を指針とし、戦略プラン等で定めているつくば市の施策によこ糸をとおす役割を果たす「横断的施策を紡いだ戦略」として位置づけます。戦略プランには新しい総合計画の基本計画にあたる役割があるため、つくば市の施策等を幅広く包含しておりますが、総合戦略ではまち・ひと・しごと創生に特化し、より目標が明確な戦略として策定いたします。

人口ビジョンでは45年後（2060年）を見据えた将来展望を示し、総合戦略では5年間（平成27年度から平成31年度まで）の具体的な戦略を示します。